



原田 悦子  
(よねしる会)

### ふるさと納税に係る基金設置

**質** ふるさと納税による寄附金は、年度ごとに、まとめて次年度の予算で使用できるよう基金化できないか。

**答** 現時点では寄附がどれくらい集まるか不透明なこともあり、当面は特定の基金を設けずに、収入があった年度の事業に充てていきたい。今後、一定規模の資金が必要な場合、複数年度の活用が見込まれる場合、PR効果や寄附効果が期待できる場合などには、設置について検討したい。

### 旧淳城第二小学校を

#### 木の学校に利用すること

**質** 市街地のにぎわい・交通弱者の利便性を考え、旧淳城第二小学校体育館を木の学校として活用することは。

**答** 旧淳城第二小学校は、総合計画の中で、庁舎建設の位置について行政ゾーンにあるこの跡地を含む現在地を基本に検討を進めることとしており、その検討を先に進めたい。木の学校については、これからもさまざまな機会を捉えて展示やPRを行い、存在価値の理解と利用者拡大を図りたいと考えており、木の学校のあり方も含めさまざまな角度から検討したい。

#### その他の質問事項

- ・農地・水・環境保全向上活動支援事業
- ・松くい虫対策とニセアカシア対策
- ・能代産業廃棄物処理センター



針 金 勝 彦  
(平政会)

### 後期高齢者医療制度導入の対象者と混乱

**質** 広報や説明会を通じて周知しているが、今回の施行に対しての問い合わせや抗議等の状況混乱等はあったものか。また、今後対象人数がどのような割合で推移していくものか。

**答** 被保険者証や保険料仮徴収通知書を送付した直後には問い合わせが数多くあり、職員が丁寧でわかりやすい説明を心がけ、理解をいただき、現在は問い合わせも1日に数件と落ち着いた状況にある。被保険者数は4月1日9852人であるが、今年度末では1万人を超え、毎年度100〜300人の増加が見込まれている。

### 子供の通学・下校時の安全確保

**質** 各小中学校のスクールガードの設置状況と相互の連絡網の整備に関してどのように情報を伝達し、共有しているのか。活動に対して助成や協力体制はどのように行っているか。

**答** 市内すべての小学校にスクールガードが組織され、23団体882名が登録している。情報は市がすべての小中学校と保育所等に伝え、学校を通して保護者や学校安全ボランティアに伝達している。また、これまでスクールガードの研修や養成講習会を実施しており、今後とも情報交換を行い、連携を深めていきたい。

#### その他の質問事項

- ・道路特定財源の市財政への影響
- ・医療制度運営における周知活動
- ・安全マップ再整備と地域との連携



庄司 紘八  
(市民の声)

### 他所から見た「能代市」

**質** インター名や駅名は、他所に対していかにかかりやすく表示されるか、が大事であり、それができた時、初めて地域間競争のスタート地点につけると思うが、どうか。

**答** インターや駅名には、位置としてのわかりやすさや住民の名称に対する思いもあり、変更には内外に及ぼす影響も大きいことから、慎重な対応が必要である。能代市のPRや情報発信、特色あるまちづくりを通じて、人の交流や物流を促し、知名度を高め、さらなる地域の活力向上に努めていきたい。

### 東能代地域の課題

**質** 東能代地域に「避難場所の設置」をぜひお願いしたい。また、東能代自治会連合会や個々の自治会からも要望している「行政区の見直し」もぜひ実現してほしい。

**答** 避難施設は既存の学校施設及び公民館等とするものとしており、それらが使用できない場合は、民間施設で対応することとしており、新たな避難施設の整備は、今のところ予定していない。また、行政区の見直しは住民の総意によることが重要である。今後は扇洲地区の意向の把握方法について検討する必要がある。

#### その他の質問事項

- ・市街地のにぎわい創出
- ・山本地区振興局の集約化
- ・学校の補修計画